



鳥評委第2号  
平成29年2月1日

鳥取県知事 平井 伸治 様

鳥取県公共事業評価委員会  
会長 小林 一



平成28年度公共事業の事前評価について（答申）

平成28年10月6日付けで諮問のあった下記1の事前評価事業について、下記2のとおり答申します。

なお、当該事業のみならず今後も公共事業の実施に当たっては、効率的・効果的に執行されるよう期待します。

記

- 1 審議した事前評価事業  
一般国道313号（北条ジャンクション）道路改良事業（北栄町）
- 2 計画の妥当性及び審議の概要等

計画の妥当性	妥当
事業の概要	<p>当該道路は、鳥取県中部地方生活圏と岡山県真庭地方生活圏を結び、山陰道や中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道）と一体となって広域的な高速道路ネットワークの形成を図る路線である。</p> <p>現在は、一般国道9号と平面交差で接続しているが、山陰道「北条道路」の整備計画にあわせて、自動車専用道路相互を完全立体交差型のジャンクションで接続することにより、円滑で快適かつ安全な道路サービスを提供するものである。</p> <p>（計画延長L=400m、幅員W=6.5（11.5）m、事業費48.2億円、完成目標H38年度）</p>
審議の概要	<p>ジャンクションについては2つの形式が比較検討されており、併せてジャンクション周辺地域へのアクセスとしてのハーフインターチェンジも計画されていた。道路利用者の利便性、環境への影響、総事業費等を検証した結果、提案された計画は妥当と判断した。</p>